

【全校研究テーマ】

授業力向上 ～個別最適な学びと協動的な学びの一体的な充実～

1.概要

中央教育審議会において、『教師の個別最適な学び、協動的な学びの充実を通して「主体的・対話的で深い学び」を実現することは、児童生徒の学びのみならず、教師の学びにもまた求められている命題である』とまとめられている。（2021年11月15日）全校研究では、図1で示してある目標をもとに「現場の経験」や「同僚との学び合い」等を重視し、教員一人ひとりが主体的に自らの知見を発信する授業実践交流会形式の研修に取り組むこととした。

1年めとなる今年度は、各学部の中で興味・関心のあるテーマに合わせて4～6名程度の小集団のグルーピングを行った。小集団の中で、お互いの授業をテーマの観点をもとに見学し合い、意見交流を行うことで図1に書かれているそれぞれの能力の向上を目的とした。また、授業交流することにより、「他者との対話」や「振り返り」等の「協働的な学び」も重視し、「授業力向上」や「生徒を見取る力」の向上も期待している。

研究の目的

①新たな専門性の習得

教師それぞれの強みを伸ばす

②学びの内容の多様性

ニーズに合わせた多様な内容を学ぶ

③学びのスタイルの多様性

他者との協働による学びを通じて、実践的な知識とスキルを磨く

図1 全校研究の目的

2.方法

4月初めに、各学部で「興味・関心のあるテーマ」についてのアンケートを行い、各学部内で4～6名程度の小集団を設定した。

その小集団の中で、全員が必ず「授業を行う担当」と「授業を見学する担当」の2つの役割に当たるように調整し、加えて授業を見学していない人も意見交流ができるように研究授業の授業略案を小集団内で配付して意見交換が行えるようにした。

研究の最後には、各班ごとに取り組んだ内容のポスターを制作し、ポスター発表を行うことで全体で情報共有を行った。

3.結果

研究発表後にアンケートを実施し、今年度の研究について意見を募った。アンケートの項目と結果は図2の結果アンケートに示しており、意見交流会について出た感想や意見は以下の通りである。

・先生方が普段使っている教材を教えてください、他学年の授業の様子も知ることができた。また、日ごろの授業の生徒の様子や工夫をたくさん話し合うことができ、授業のねらいや、それぞれのテーマのアイデアを話し合うことができた。

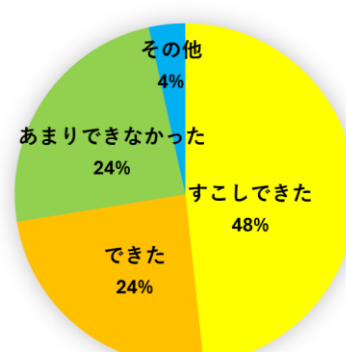
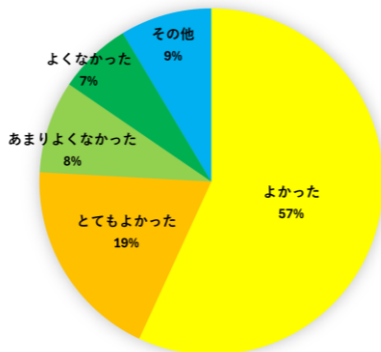
・資料を見ながら授業の相談をしたり、先生方が授業で使用しているおすすめのICT機器の使い方やアプリの情報交換を行ったりして、授業に関する様々な意見を出し合うことができた。

・日頃の授業の様子を具体的に想像しながら話し合うことができ、同学年だからこそ生徒の得意不得意がわかり、生徒に応じた支援や指導ができているかを考えることができた。

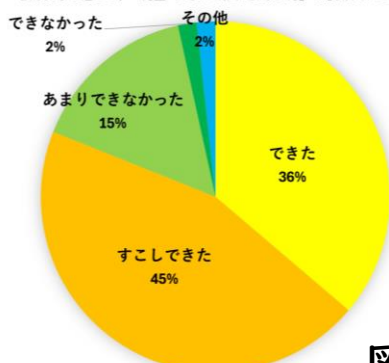
アンケート結果を通して、全体の約半数が「とてもよかった」「よかった」等を選択しており、小集団での授業実践交流での取り組みは効果的だったと考えられる。しかし、各学部から授業実践交流についての様々な意見が出ていることから、来年度もアンケートの結果や意見を参考にしながら、引き続き全校研究に取り組んでいきたい。

授業実践交流会（意見交流会や授業見学）を通して、授業力を向上することができたか。

4～6人程度の少人数グループでの授業実践交流会（授業研究）はどうだったか。



授業見学を通して、「児童・生徒の成長を見取る力」を意識することができたか。



全校研究ポスター発表についてポスターを発表する形式での研究会はわかりやすかったか。

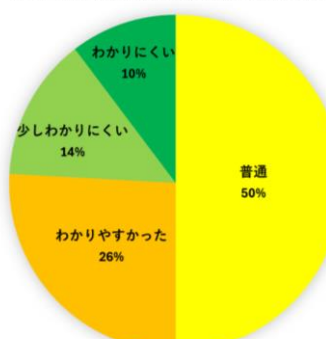


図2 結果アンケート